

2025年10月に予定しているサイバーポートのバージョンアップ(Ver.2)に関して、2025年5月30日(金)よりAPIの仕様公開を開始いたします。

<仕様公開(Swagger)>

API仕様は、現行と同様にSwaggerにて公開します。以下のリンク先です。

[Swaggerサイトのリンク](#)

<バージョンアップの経緯>

- サイバーポート(港湾物流)は、2021年4月に運用を開始し、現在まで多くの事業者様にご利用を頂いております。
- これまでの運用の中で事業者様から頂いたご要望、第7次NACCS更改への対応等のため、2025年10月に、サイバーポートのデータ項目等のバージョンアップを実施します(Ver.2)。
- Ver.2では、サイバーポート帳票とNACCS帳票間のデータ連携の円滑化やルートドキュメント(※)の最適化に対応します。※ルートドキュメント:帳票間でデータを共有している項目のこと。
- また、画面・APIの利便性向上のため、画面構成やデータ構成等を一部変更しています。

＜API仕様公開対象＞

5月30日時点で仕様公開するAPIは以下の通りです。

- 取引API
- 帳票API
- 各種マスターAPI

以下は6月以降順次公開予定です。公開対象の追加、変更がある場合は都度お知らせをいたします。

- **NACCS連携API** ※第7次NACCSに対応した帳票項目となります。

＜スケジュール＞

サイバーポートVer.2に関わる全体スケジュールは以下の通りに予定しております。

- 2024年10月25日 :事業者様への周知① 変更通知
- 2025年 1月31日 :事業者様への周知② 仕様公開
- 2025年 5月27日 :Webセミナーでのご紹介
- **2025年 5月30日 :事業者様への周知③ API仕様公開(Swagger) ※順次**
- 2025年 6月 :テスト環境のご案内 ※順次
- 2025年10月 :バージョンアップ版のリリース(第7次NACCS更改と同時)

< 帳票項目の変更 >

- 従来、単項目で管理していたルートドキュメントを小分類化し、小分類単位でルートドキュメントによる共有を行います。
- NACCS連携を考慮し、NACCSに連携される項目の項目単位を合わせます。
(例: 荷送人住所⇒荷送人住所1, 荷送人住所2, 荷送人住所3・・・等)
- これまでの運用の中で事業者様から頂いた要望を踏まえた項目の追加/変更/削除します。

Ver.1

データモデル名		船積依頼書	
No.	明細	モデル項目名	
		日本語	英語
1		書類発行日	Printed Date
2		書類発行者_会社名	Publisher_Company Name
3		書類発行者_住所	Publisher_Address
4		書類発行者_担当者	Publisher_Person in Charge
5		書類発行者_電話番号	Publisher_Tel
6		書類発行者_FAX番号	Publisher_Fax
7		書類発行者_メールアドレス	Publisher_E-mail
8		荷送人_会社名	Shipper_Company Name
9		荷送人_コード	Shipper_Code
10		荷送人_住所	Shipper_Address
11		荷送人_担当者	Shipper_Person in Charge
12		荷送人_電話番号	Shipper_Tel
13		荷送人_FAX番号	Shipper_Fax
14		荷送人_メールアドレス	Shipper_E-mail
15		荷送人_部門コード	Shipper_Section Code
16		荷送人_参照番号	Shipper_Ref No.
17		実荷送人_会社名	Actual Shipper_Company Name
18		荷受人_会社名	Consignee_Company Name
19		荷受人_住所	Consignee_Address
20		荷受人_担当者	Consignee_Person in Charge
21		荷受人_電話番号	Consignee_Tel
22		荷受人_FAX番号	Consignee_Fax
23		荷受人_メールアドレス	Consignee_E-mail

Ver.2

データモデル名				船積依頼書	
No.	明細	分類		モデル項目名	
		日本語	英語	日本語	英語
1		荷送人	shipper	会社コード	code
2		荷送人	shipper	会社名	companyName
3		荷送人	shipper	会社名_英語表記	companyNameEn
4		荷送人	shipper	国コード	countryCode
5		荷送人	shipper	郵便番号	zipCode
6		荷送人	shipper	都道府県	prefectureName
7		荷送人	shipper	市区	cityName
8		荷送人	shipper	町域	suburbName
9		荷送人	shipper	番地、建物など	addressLine
10		荷送人	shipper	都道府県_英語表記	prefectureNameEn
11		荷送人	shipper	市区_英語表記	cityNameEn
12		荷送人	shipper	町域_英語表記	suburbNameEn
13		荷送人	shipper	番地、建物など_英語表記	addressLineEn
14		荷受人	consignee	会社コード	code
15		荷受人	consignee	会社名	companyName
16		荷受人	consignee	会社名_英語表記	companyNameEn
17		荷受人	consignee	国コード	countryCode
18		荷受人	consignee	郵便番号	zipCode
19		荷受人	consignee	都道府県	prefectureName
20		荷受人	consignee	市区	cityName
21		荷受人	consignee	町域	suburbName
22		荷受人	consignee	番地、建物など	addressLine
23		荷受人	consignee	都道府県_英語表記	prefectureNameEn

取り扱う単位を変更します。
V1: 単項目単位
V2: 分類単位
この単位でデータ共有・画面表示等
行います。

NACCS連携を考慮して項目を定義
します。
例: 住所項目の細分化(申告系業務を考慮)

＜帳票APIメソッドの変更＞

- サイバーポートの帳票APIでは、帳票データに対する操作ごとにメソッドを提供しています。
- バージョンアップに伴い、以下の通りメソッドの変更があります。

データ操作	帳票APIメソッド(現行)	帳票APIメソッド(Ver.2)
登録	/API/v1/Report/[ReportName]/Create	/API/v2/Reports/[ReportName]/Create
更新	/API/v1/Report/[ReportName]/Register	/API/v2/Reports/[ReportName]/Update/{reportId}
送信(提出)	/API/v1/Deals/SendReport	/API/v2/Reports/[ReportName]/Submit/{reportId}
取得	/API/v1/Report/[ReportName]/Get/{dealReportId}	/API/v2/Reports/[ReportName]/Get/{reportId}
削除	/API/v1/Report/[ReportName]/Delete/{dealReportId}	/API/v2/Reports/[ReportName]/Delete/{reportId}
ロック	-	/API/v2/Reports/[ReportName]/Lock/{reportId}
ロック解除	-	/API/v2/Reports/[ReportName]/Unlock/{reportId}

■ 帳票の更新～送信(提出)について

- サイバーポートは「ルートドキュメント」の仕組みにより、一方の帳票でデータが更新された場合、共有している項目を持つ別の帳票のデータも更新されます。
- Ver.2でもルートドキュメントの仕組みは変わりませんが、ルートドキュメントの更新タイミングが変更されます。

データ操作	帳票APIメソッド(現行)	処理内容
更新	/API/v1/Report/[ReportName]/Register	- 帳票の更新 - ルートドキュメントの更新
送信	/API/v1/Deals/SendReport	取引関係先への送信 ※「更新完了」の通知
データ操作	帳票APIメソッド(Ver.2)	処理内容
更新	/API/v2/Reports/[ReportName]/Update{reportId}	帳票の更新
提出	/API/v2/Reports/[ReportName]/Submit{reportId}	- ルートドキュメントの更新 - 取引関係先への提出

- Ver.2の「更新」では当該帳票のみ更新され、「提出」のアクションによりルートドキュメントも更新されます。
- これにより、取引内の他帳票を巻き込まない『一時保存』の更新が可能となります。
- 現在、サイバーポートのAPIにて帳票の登録、更新をされている利用者様は、**Register + SendReport**を実行されているかと存じます。
Ver.2では同様に**Update + Submit**を実行するようお願いいたします。

■ 帳票のロック、ロック解除について

- サイバーポートは、取引に参加する組織に対し帳票の更新・参照権限が設定され、権限があれば、帳票の作成者でなくとも更新が可能です。
- Ver.2では帳票更新時のオプションとして「ロック」のメソッドを追加します。ロック中は、ロックをしている組織のみ当該帳票の更新が可能となります。
- ロックは帳票の「提出 (Submit)」「ロック解除 (Unlock)」にて解除されます。
- これにより、自組織が更新しようとする(した)帳票が他組織から更新されることを防ぐことができます。

データ操作	帳票APIメソッド(Ver.2)	処理内容
ロック	/API/v2/Reports/[ReportName]/Lock/{reportId}	帳票の更新
ロック解除	/API/v2/Reports/[ReportName]/Unlock/{reportId}	- ルートドキュメントの更新 - 取引関係先への提出

- ※1. サイバーポートのGUI(Ver.2)では、原則として帳票の更新前に「ロック」を行います。
帳票項目の入力中に他組織から同帳票が更新されることを防ぎます。
- ※2. ロック中の帳票に対し他社組織が「更新」「ロック」をリクエストした場合、
HTTPステータスコード=403(権限なし)でレスポンスが返却されます。

